

令和7年10月16日（木曜日）

豊後高田市立高田中学校 姫野 友輔先生の授業です。

授業の単元は、第3学年「関数 $y=ax^2$ 」。二つの有料駐車場の駐車料金を示した表をもとに、グラフを作成し、どちらの駐車場の料金が安くなるかを考察するなど、具体的な事象の中にある数量の関係を関数関係と捉え、問題解決を図る場面です。

導入では、実際の有料駐車場の料金表を提示し、比較させる活動を行いました。判断することができない様子が見られたため、それぞれの駐車場の1時間ごとの駐車料金を確認するなど、具体をもとに問題解決のためのイメージをもたせる工夫がなされていました。

グラフを作成する場面では、線の引き方に困りを感じている生徒が複数見られたことから、関数の定義を基に線を結ぶか結ばないかについて全体で確認するなどし、グラフが階段状になることを確認することができました。

また、班活動において、グラフをもとに時間ごとの駐車料金を比較し、どちらの駐車場の駐車料金が安くなるかについて、班ごとに問題解決に取り組み、グラフのよさを実感することができました。

事後研には、豊後高田市教育委員会の小迫指導主事も参加し、問題解決に向けた見通しをたてさせることの重要性や理由の説明を求める授業においては、論理的な思考力や表現力を高めるために「根拠」と「成り立つ事柄」の両方を示すこと等について確認しました。

ぜひ、今後も日常生活や社会の事象をもとにした授業に取り組み、生徒が数学の有用性を感じるとともに、思考力・判断力・表現力の育成に努めていってほしいです。

